

NESS

取扱説明書

バルブマニホールド (3方弁)

お願い

この取扱説明書は最終ご使用いただくお客様の元に、保存されますようご配慮をお願いいたします。

ネステック株式会社

URL : <http://www.nesstech.co.jp>

本社営業部 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目12番1号
電話 047(453)5502 FAX 047(453)1181
Eメール e.sales@nesstech.co.jp

関西営業部 〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目1番1号
大阪本町西第一ビルディング11階
電話 06(6539)5656 FAX 06(6539)5858
Eメール w.sales@nesstech.co.jp

国際営業部 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1丁目12番1号
電話 047(453)6555 FAX 047(453)6556
Eメール global@nesstech.co.jp

[保証について]

本製品は厳重な品質管理のもとに製作されておりますが、万一出荷後一年以内に弊社の製造上の原因による品質不良が発生した場合は、無償にて当該製品のための修理、あるいは良品と交換を致します。但し、弊社及び弊社が指定する業者以外の手による製品の分解、製品自体の改造、取扱い不備、使用による劣化等については保証致しかねますので、あらかじめ御了承ください。

また、取扱い不備について現場での実証は極めて困難な場合がありますので、部品の変形等の明白な痕跡が認められた場合は、弊社によってその旨判断させていただきますのであらかじめ御了承ください。

はじめに

バルブマニホールドを御使用の際は、御使用前に本書をよく御覧のうえ、正しく有効に御使用ください。尚、この取扱説明書は一般的な取扱いについて記載してありますが、全てを網羅するものではありませんので、この取扱説明書以外の事項については、弊社営業所までお問合せ下さい。

用途と機能について

バルブマニホールドは差圧計測器(差圧計、差圧スイッチ、差圧発信器等)に差圧を加える場合や、差圧計測器を配管から取り外す場合等に、又は誤って計測器の片側に過大な圧力を加えて計測器の破損を防ぐために使用します。

性能

耐圧性： 40MPa

使用流体：液体・気体（但し、接液部を腐食させるような液体及び高粘度の流体は不可）

使用最大温度：～250℃

警告

- ・加圧中にバルブマニホールドは絶対に分解しないでください。
プロセス流体が突出し大きな事故の原因となります。
- ・バルブマニホールドの性能以上の圧力を加えないでください。
バルブマニホールドが破損又は破裂し、けがや周囲を破壊する原因となります。
- ・接液部材質を腐食・劣化させる測定体には、使用しないでください。
バルブマニホールドが破損又は破裂し、測定体が放出する事により、けがや周囲を破壊する原因となります。
- ・使用温度範囲内で御使用ください。
使用温度範囲外で使用されますとバルブマニホールドが故障または破損し、けがや周囲を破壊する原因となります。

取り付け

バルブマニホールドの配管側を配管（圧力源）に取付け、計器接続側に導管等を使用し、差圧計測器を取り付けてください。

シール部には、用途に適したパッキンを使用し、テーパネジの場合にはシールテープを巻いて、シールさせてください。接続部より漏洩が生じた場合は、圧力がかかっていない状態で増し締め、またはパッキンを交換してください。

警告

シール不十分の場合、バルブマニホールドが外れたり、測定体が突出してけがや周囲を破壊する原因となります。

バルブマニホールドの取り付けは水平、垂直、斜め、どのような角度でもご使用頂けます。

操作例

(1)差圧の計測を開始する時

- ① 下図のバルブV1(高圧側ストップ弁)及びバルブV2(低圧側ストップ弁)をあらかじめ時計回り方向に止まるまで閉めておいてください。
- ② バルブV3(均圧弁)を開いた後、バルブV2を徐々に反時計回り方向に止まるまで開いてください。

注意

バルブV2を急激に開くと、差圧計測器の高圧室と低圧室の容量の違いにより、片側に急激な圧力が加わり、エレメントを破損することがあります。

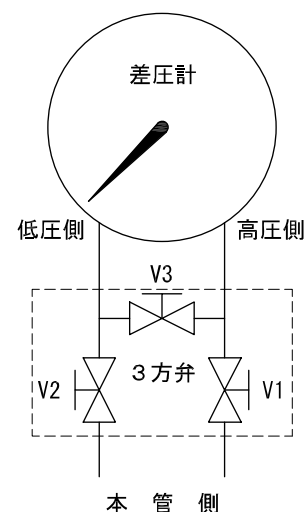
- ③ ②の操作により、差圧計の指針が僅かに振れた後、計器内の圧力が安定し差圧ゼロを示したらバルブV3を時計回り方向に止まるまで閉じてください。
- ④ バルブV1を徐々に反時計回り方向に止まるまで開けると、差圧計に差圧が加わり計測が開始されます。

(2)差圧の計測を停止する時

- ① バルブV1を時計回り方向に止まるまで閉じてください。
- ② バルブV3を時計回り方向に止まるまで開いてください。
- ③ バルブV2を時計回り方向に止まるまで閉じてください。

注意

操作手順を誤りますと、計器を破損させる原因となります。



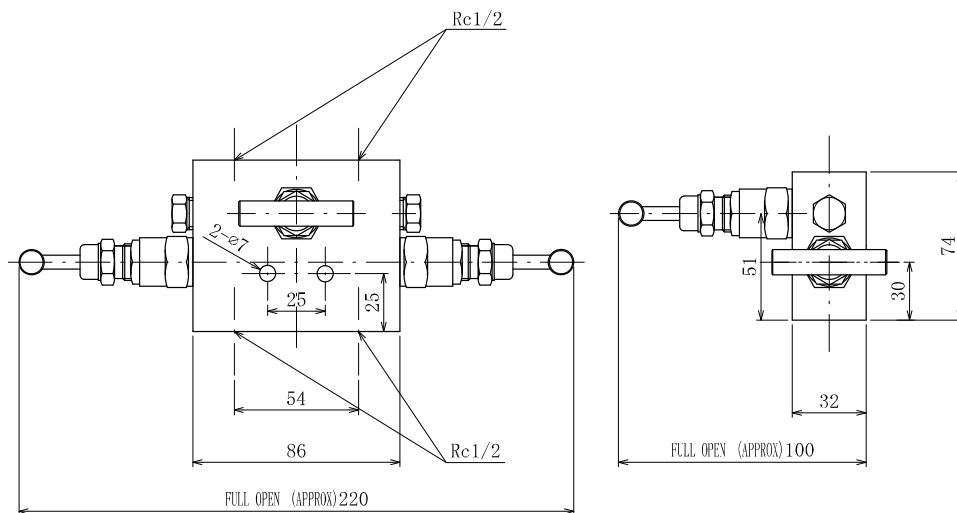
保守・メンテナンス

一年に一回以上、バルブマニホールドを主に下記項目をチェックしてください。

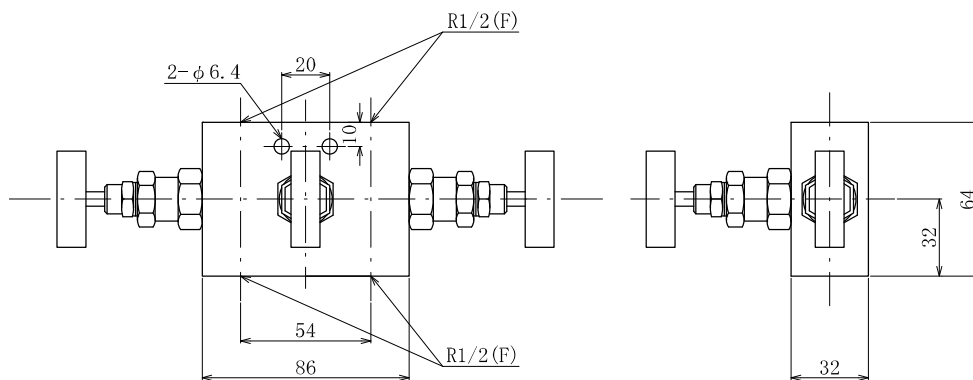
- ・ 外観に異常はないか
- ・ 漏洩
- ・ 接液部の腐食程度
- ・ 接液部に対する異物付着

外形図 (代表例を示します)

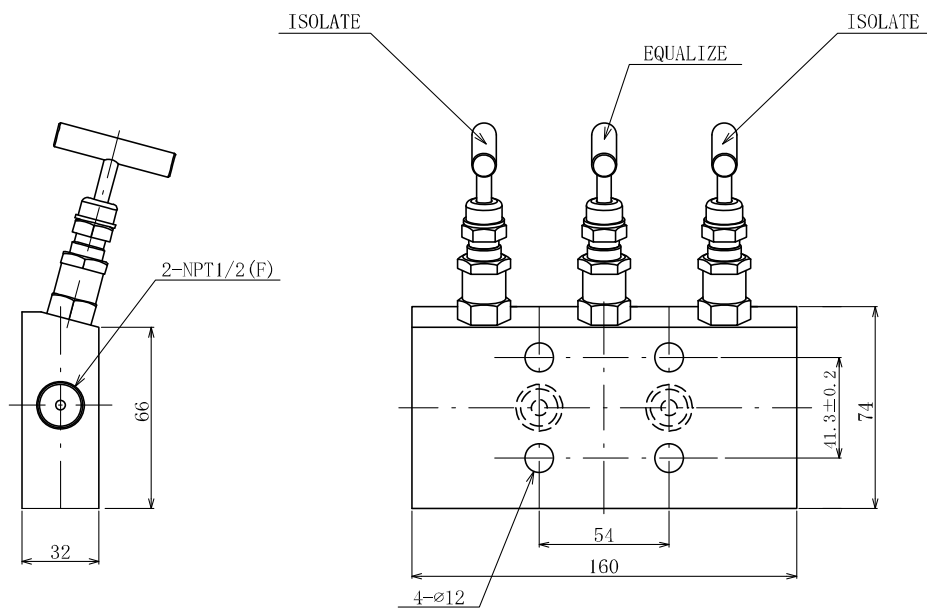
・ 3VS



・ 3VM



・ 3VA



本取扱説明書に不審な点や誤り、記載漏れがあったときは、購入の代理店または弊社までご連絡ください。尚、本取扱説明書は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。